

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月23日

【評価実施概要】

事業所番号	2072200690		
法人名	社会福祉法人依田窪福社会		
事業所名	グループホーム 和田		
所在地	長野県小県郡長和町和田1550-2 (電話) 0268-88-0088		
評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成19年12月21日	評価確定日	——

【情報提供票より】 (平成19年12月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	7 人	常勤 6人, 非常勤 1, 常勤換算 6.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1階 ~ 2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000~32,000 円	その他の経費(月額)	夏季17,000円・冬季20,000円
敷金	有 (円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(平成19年11月30日現在)

利用者人数	8 名	男性 0 名	女性 8 名
要介護1	1	要介護2	2
要介護3	3	要介護4	1
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 81.3 歳	最低 71 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・組合立国保依田窪病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長門町と和田村が合併し長和町となった。両側を里山に囲まれた集落の中にホームがある。入居者は毎朝、見慣れた山を眺めては『山がないと安心できない』と山を見てここに住んでいることを確認しているという。地域密着型サービスを実践するためにホームは日常の暮らしの中にある当たり前の近所づきあいや関係作りに努めている。また24時間体制で訪問看護ステーションの看護師の支援が受けられ、看護師を通して医療機関との連携も密に取れる体制が確保されている。入居者は安心した生活を送ることが出来ている。「この町の施設」を目指し、ゆったりした時間の流れを大切にしているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価は今回で3回目である。外部評価結果を職員会で検討し改善に取り組んだ。家族会でも評価結果を報告している。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組み、職員間の意思統一、ケアの振り返りや見直しが期待できるので全職員で自己評価を行い、サービスの質の向上に努めて欲しい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援するために、地区住民や行政担当者等と会議で活発に意見交換が行われており、ホームへの関心の高さが窺える。ホームから行政担当者に事業推進に向けて積極的に連携をとり働きかけている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族への報告は定期的きちんとしている。面会時に要望や意見を気軽に話しやすいようにコミュニケーションや雰囲気作りをしている。また、どんな些細なことでも速やかに受け入れる姿勢があり、出された要望や意見は直ちに検討しサービスの質の向上に生かしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の中でどうあるべきなのか、認めてもらうためにどうすればよいのか等を職員会で話し合い、まず職員から地域活動や住民との関わりを持つことを決め、意欲的に実践している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員会でホームが地域の中でどうあるべきかを話し合っている。法人の理念に加えホームとして地域密着型サービスの役割を含んだ理念を含めることを検討中である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域に根ざした「この町の施設」となるために職員全体で話し合ったり、また、入居者に関った時を振り返り理念に基づくものであったものかどうか確認もしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	区費は区の厚意もあり支払っていないが参加できる行事などには出掛けている。区常会には毎回出席し地区の人たちとの交流に努めている。区常会でグループホームの役割や認知症についてなどの講話をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の目的や活用等について理解をしている。前回の評価結果は職員会で報告され改善に取り組んでいる。	○	自己評価は全職員で取り組み、職員の意思統一、ケアの振り返りや見直しを行う機会として欲しい。

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回会議を開いている。会議では報告や情報交換を行い、活発な話し合いが行われている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町保健福祉課担当者とはホームの運営のことや次年度より開始する共用型デイのことなど時々出掛けては相談している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	入居者の様子は年3回発行のホーム便り「和なごみ」を通し家族等へ報告している。金銭、健康状態、介護計画、ケース記録などに関しては面会時に報告し確認のサインを得ている。家族の面会は週一回、少なくとも月一回はある。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時は積極的に話す機会を持ち意見や要望を伺うよう心がけている。出された要望や意見は早急に検討し改善に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人の意向もあり法人内異動がある。管理者は馴染みの職員による支援の必要性を法人に伝えている。新しい職員が入った時は必ず入居者に紹介している。		

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や学習会への参加を奨励している。研修参加者は報告書を作成し、職員会で発表し全職員で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム相互評価事業に参加している。半年単位で3施設が一つのグループになり相互訪問を実施している。この活動を通してサービスの質を向上させる取り組みをしている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や体験利用をした上でサービスを開始するようにしている。相談者側の都合で直ぐ入居になった例もあったが、その時は周りの支援や協力を得て問題を回避している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事を作る時は調理の仕方、味付けなどを入居者から教えられることが多いという。入居者がテレビのニュースを話題にすれば一緒に話し、冗談を言い合っては一緒に笑うなど和気藹々と過ごしている。		

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から入居者の意向や思いの把握に努めている。意思表示が困難な入居者の場合はしぐさや家族の話を参考に本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を聞いたうえで課題を職員会で話し合い、目標指向の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、職員会で介護計画を見直している。必要に応じ、現状に即した介護計画に作りかえている。変更時や見直しされた介護計画はその都度、家族に説明し確認のサインを得ている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族に代わって通院、買い物や美容院への付き添い、必要があれば車で送迎することもある。入居者が町のサークル仲間と旅行に参加した時も付き添うなど入居者一人ひとりが満足できる生活になるよう支援している。		

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院は家族が付き添うこともあるが職員が代わって付き添うことがある。受診結果は家族に報告している。24時間体制で訪問看護ステーションの支援を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りに関して職員で話し合いを行っている。かかりつけ医は終末期を迎えた本人の家族に説明を行い、それを職員らはどう支えていくべきか話し合うなど関係者が方針を共有している。見取りに関した家族からは感謝の言葉を頂いている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は個人情報保護法を理解し秘密保持の徹底が図られている。入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応に心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはおおまかにあるが一人ひとりの体調や気分配慮しながら個別に支援している。介護計画で朝の着替えを实践したところ本人が洋服を選んで着ることを喜んで(意欲的に)行うようになったと伺った。職員が入居者一人ひとりをよく見て、工夫している様子が窺えた。	○	入居者のペースを大切にしすぎていると思われる。入居者が今日はどう過ごしたいのか一人ひとりの「その日」したいことを把握して「今日は楽しかった」「いい日だった」など気持ちが現れるような支援を期待したい。

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、盛り付け、後片付けなど入居者と一緒に行っている。入居者の中に元調理師がいるので職員はとても頼りにしている。入居者の指示で職員が『はい』と返事をするなど和やかな雰囲気があった。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、入浴が出来るように14時から20時は浴槽に湯が入っている。介助入浴の入居者は日中入浴しているが、自分の意思で入浴する場合は本人の希望する時間に入浴できるよう柔軟に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干しや取り込み、食事の準備や片付け、モップかけなど得意分野で力を発揮してもらい、終わったときには感謝の言葉を伝えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい、暖かな日には散歩に出掛け気分転換を図っている。職員と車椅子で出掛けたり、一人で散歩に出掛けるなど入居者一人ひとりの希望に沿った支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間を除き鍵を掛けない支援を実践している。入居者のその日の心身状況などを見て職員は連携を取り合っている。一人で散歩に出掛けた入居者を見かけた地区の住民から連絡などがあり、自然な形で協力が得られている。		

グループホーム和田

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者参加の避難訓練を実施している。12月23日は地区住民にホームの見学と防災・避難訓練参加を依頼している。また、職員の一斉呼び出しシステムを検討するなど入居者等の安全への取り組みを図っている。防火管理者が配置されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を職員はおおまかに把握している。入居者別に摂取しやすいよう調理方法を工夫している。栄養バランス、献立に更に彩を増していただくためにも法人内の栄養士に献立を見てもらう回数を多くして欲しい。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者は居間と食堂の二部屋で多くの時間を過ごしている。居間からは四季の移り変わり、通りを行きかう人や車を眺めることが出来る。食堂では食器の音や料理の匂いなどが漂う。入居者は思い思いのところでテレビを見たりおしゃべりして過ごしていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	住宅を改修したこともあり各居室は基準よりかなり広く縁側付きもある。布団、テレビ、タンス、椅子、コタツなど使い慣れた日用品や家族の写真、人形など入居者の大切な物が居室に持ち込まれ本人が安心し、居心地よく生活出来るよう居室作りがされていた。		

※  は、重点項目。